



熱傷

症状：ヒリヒリ感や赤みが続き、水ぶくれになることもあります。治る過程で色素沈着や色素が脱失して白斑になることもあります。

原因：日焼けをした直後の肌や地肌が黒っぽい肌に照射すると、肌のメラニン色素のレーザーが反応して火傷を起こす可能性が高くなります。

また、フラッシュ式のレーザーでは同じ箇所を重ねて照射すると熱エネルギーで火傷することもあります。

対処法：火傷に対しては熱傷処置を行います。

色素沈着は半年程度かけて自然に薄くなっていきますが、ハイドロキノンの外用治療も有効です。色素脱失には効果的な治療はなく自然に消失するのを待ちます

予防法：日頃から日焼け止めクリームやUVカット素材の衣類を着用するなど、紫外線対策を行うことで予防できます。

また、脱毛後には肌を冷やして鎮静化するようにしましょう。

毛嚢炎（もうのうえん）

症状：レーザーで傷ついた毛穴が炎症を起こして、赤く腫れたり膿を持ったりする状態です。

痛みやかゆみはほとんどなく、見た目にはニキビに似ています。

原因：毛穴が肌の常在菌に感染して起こる炎症で、ニキビができやすい人や汗をかきやすい人、肌が脂っぽい人が発症しやすいです。

対処法：毛嚢炎はニキビと同じように対処します。

肌を清潔にしていれば自然に治りますが、痛みやかゆみのある場合には抗菌薬やステロイドの塗り薬や抗生剤の内服薬などの処方が必要な場合があります。

予防法：日頃から肌を清潔にしておくことが基本ですが、保湿で皮脂の分泌を抑えることも大切です。

とくに脱毛施術の前後はスキンケアを丁寧に行い、肌のバリア機能を高めておくようにしましょう。

硬毛化

症状：脱毛施術を続けていくと、産毛が濃く太くなっていきます。

数本だけ硬毛化する場合もあれば、全体的に硬毛化する場合など個人差があります。

原因：硬毛化のメカニズムはまだ解明されていませんが、二の腕や背中、うなじ、フェイスラインなど産毛の多い部位に起こりやすくなっています。

約5～10%の頻度で発症しているとの報告がありますが、硬毛化の程度は実際にレーザーを当ててみないと分かりません。

対処法：硬毛化に対しては適切な対処法はまだなく、同じレーザーを照射しても脱毛できるわけではありません。YAGレーザーや針脱毛など違うアプローチで脱毛する。

アレルギー反応

症状：毛穴にポツポツと赤みが出ますが、痒みも伴います。

時間を追うごとに症状が悪化したり範囲が広がったりします。

原因：破壊された毛包からの抗原が引き金となる可能性が指摘されている。

発症する確率はかなり低く、0.3%程度です。

対処法：アレルギー反応に対しては、ステロイドの塗り薬で炎症反応を抑える治療になります。